



諏訪清陵SSH便り

諏訪清陵高等学校

12月号その1

平成26年度 第23号

(平成22年度指定)

附属中学校1年生チーム 科学の甲子園ジュニア全国大会 総合全国9位獲得、実技競技②部門全国第2位（ケニス賞受賞）



実技競技②部門全国2位となり、賞状と副賞として理科備品（ケニス株式会社の電子天秤6台を頂きました）

「第2回 科学の甲子園ジュニア全国大会」が東京都江東区のBumB東京スポーツ文化館で、12月5日（金）～12月7日（日）の日程で開催され、本校附属中学校1年生6人が長野県代表として出場しました。

筆記試験、実技競技①、実技競技②の3種目を全国47都道府県代表チーム282名と競い合い、見事、総合全国9位、実技競技②（指定時間内に決められた材料と道具を用いてヘリウム飛行船の作成し、指定されたポイントに飛行船をタッチさせながら15mのコースを飛行させるタイムレース）部門で全国2位を獲得し、ケニス賞を受賞しました。

「科学の甲子園ジュニア全国大会」は「全国の中学生在が理科や数学などの複数分野の競技を協働して取り組むことを通じて、科学と実生活のつながりに気づき、科学を学ぶことの意義や楽しさを実感できる場を提供すること」を目的として開催されており、今年が第2回目です。本校附属中学校1年生は8月に松本で催された長野県大会で優勝してこの大会に参加しました。

当日は各都道府県から選抜された47チームが、理科や数学に関する知識とその活用能力を駆使してさまざまな課題に挑戦しました。最終的には、筆記競技、実技競技①、実技競技②の総合成績により、茨城県代表チーム（茨城県立並木中等教育学校）が優勝、福岡県代表チーム（久留米大学附設中学校、福岡教育大学附属福岡中学校連合）が第2位、愛知県代表チーム（海陽中等教育学校）が第3位となりました。

1年生だけで構成されたチームは諏訪清陵高校附属中学校だけで、心配だったようですが、出場が決定して以来4か月余、昨年度の課題を手に入れて自主的に問題を解いたり、顧問矢崎先生に解説していただいて本番に備えました。11月中旬には大会本部から飛行船の課題が出され、指定された材料でヘリウム飛行船を設計製作して準備しました。

当日は、予想していた以上に筆記試験が難しく落胆したようですが、直ぐに気を取り直して、実技競技①「酵素の濃度を決める」、実技競技②「飛行船の製作とタイムレース」に臨みました。実技①では与えられた課題を解く化学実験の手順を5分間で考え、55分間で実験して課題を解き、結果を考察してレポートにまとめるという難しいもので、すべての課題を解くことは出来なかったようですが、終了したときの充実感は何ともいえないものだったようです。

殆どのチームがゴールできない中、本校のユニークな形状の飛行船は浮上力に優れ、3人の選手の臨機応変な作戦と自在な操縦で、予選を7位、そして決勝では岩手県に次ぐ第2位を獲得しました。



開催式に臨むチーム代表者



実技競技①科学実験に取り組む3選手